

1 馬のいる場所にてかけよう

私のおじいさんやおばあさんが子どもの頃には、住まいの近くに馬がいて、馬に出会うことができました。でも、今私たちが馬に出会えるところは、乗馬クラブや牧場、観光地、競馬場などごく一部の場所になってしまいました。ここでは、乗馬クラブについて厩舎や放牧地など施設・設備を紹介しましょう。

1 クラブハウス
乗馬クラブに着いたらまずはここに行くことになります。中に受付があるので、クラブでのルールや馬の話を詳しく聞くこともできるでしょう。更衣室やシャワー室などの設備も整っているところが多く、活動時間までゆっくり待つことができます。

2 厩舎 (きゅうしゃ)
馬を飼っている建物のことです。中には馬の部屋である「馬房」が通路に面してたくさん並んでいます。馬房の他にも馬具をしまっておく「馬具庫」やエサをしまっておく「飼料庫」などもあります。この建物は、馬の住んでいる場所ですから大きな声を出したり、走ったりというような馬を驚かせる行為には特に注意しましょう。

3 馬房 (ばぼう)
馬が寝起きする部屋のことです。通常は1つの馬房につき1頭の馬が入っており、その場所は決まっています。中にはオガくずやワラが敷かれており、馬が快適に過ごせるよう清潔に掃除されていることが理想です。

4 馬具庫 (ばぐこ)
馬に人が乗る際に使用する「鞍」や「勒」などの馬具を保管しておく部屋のことです。馬具は革製品が多いため、湿気を嫌うことから風通しが良く作られています。それぞれの馬具は置く場所が決まっているので、使ったら元の場所に戻すよう気をつけましょう。

5 飼料庫 (しりょうこ)
馬のエサをしまっておく部屋のことです。中には馬のエサである乾草やヘイキューブ(牧草を乾燥圧縮しブロック状にしたもの)、麦類等を積み重ねて保管しています。これらは馬が口にする食べ物ですから異物が混ざらないよう気をつけ、いつも清潔にしておくことが大切です。



これらの設備の他にも、馬を鍛えるため速く走らせるための「走路」がある牧場や、敷地を出て自然の中へで乗馬を楽しむ「外乗コース」を備えた乗馬クラブもあります。

馬のいる場所では、馬を驚かせたり、乗馬中の人に迷惑をかける行動をすることがないようにいつも気をつけましょう。

6 洗い場 (あらいば)
「蹄洗馬」とも言います。馬をつないで、馬装(ばそう:馬具をつけて人が乗れるように準備すること)やブラッシング、手入れ等をする場所のことです。お湯や水で洗えるようになっており、手入れに必要な道具などいろいろな用意されていますが、安全のため馬の足元には物を置かないようにしましょう。

7 馬場 (ばば)
馬に乗る場所のことです。多くは大きな長方形をしています。外周柵に面した直線部分を「蹄跡」と呼び、長辺に面したところは「長蹄跡」、短辺に面したところは「短蹄跡」といいます。四隅の曲がり角のことは「隅角」と呼んでいます。屋根が付いて風雨を防げる馬場のことは「覆馬場」、「屋内馬場」と呼びます。

8 丸馬場 (まるばば)
直径15m前後の丸い形をした小さな馬場のことで、初心者の乗馬訓練や馬の調教を行なう際に便利なよう丸くなっています。丸馬場がない乗馬クラブでは「馬場」の中を小さく四角に仕切り、丸馬場のように使用しているところも見られます。

9 ポロ山
馬の糞を「ポロ」と呼びます。ポロ山は、ポロや馬房で汚れたオガ、ワラなどを施設外へ運び出すまで一時的に積んでおくところです。厩舎掃除(「ポロ掃除」ともいいます)で出てきたポロなどは一輪車に積んでポロ山に運びましょう。

10 放牧場 (パドック)
馬を放牧・休養させておく場所のことです。放牧場はかなり広いものが多いのですが、小さく作られたものは「パドック」とも言います。放牧は馬にとってリフレッシュになるとともに、体の故障がある馬にとっては治癒への力を養う重要なものです。乗馬クラブによっては無いところもあります。